

献眼で あなたにもできます

「光」の贈りもの

勇気を運んでくれた翼／撮影：イナガキヤスト

TOYAMA
eye
EYE BANK

第27号

公益財団法人
富山県アイバンク

富山県
アイバンクだより

献眼者ご芳名

令和2年4月から令和3年3月まで

令和2年

4月 高畠 一昭様 立山町

4月 匿名希望 富山市

4月 匿名希望 射水市

5月 津田 賢二様 富山市

6月 匿名希望 富山市

7月 砂田 勝行様 富山市

7月 匿名希望 砺波市

8月 三箇美那子様 射水市

9月 道林フミ子様 上市町

9月 坂田 楨子様 富山市

11月 砂田恵美子様 富山市

11月 宮原 良子様 射水市

12月 前原 正治様 舟橋村

12月 吉崎 昭博様 富山市

12月 檜谷キミ子様 富山市

12月 匿名希望 魚津市

令和3年

1月 平田 寿子様 富山市

2月 篠原 浩二様 富山市

2月 山森千代乃様 富山市

3月 古川 克己様 富山市

3月 矢後 恵様 富山市

—謹んで哀悼の意を表します—



厚生労働大臣感謝状伝達式につきましては、コロナ禍の中、
本年は中止となりました。

令和2年7月から本年7月までに献眼頂きました26名のご遺
族様へ感謝状を郵送させて頂きました。

改めまして、ここに御礼申し上げます。



日本での献眼の始まりとヘレン・ケラー

人は外部情報の87%を視力で得ているため、目の障害は生きていく上で大変な困難を伴い、1925年のライオンズクラブ国際大会で、ヘレン・ケラー女史が盲人への援助を訴えて以来、視覚障害はライオンズの大きなテーマになりました。1928年死体眼からの角膜移植が有効と判ると、角膜の入手が容易になり、提供者（ドナー）と受給者（レシピエント）を繋ぐ「目の銀行」が1930年米国で発足、45年ライオンズクラブがニューヨークでアイバンクを設立し、以後一気に全米欧州に拡大しました。

日本では1949年岩手医科大学の今泉亀撤教授が、第1例を施術。56年には手術費用を工面できず開眼を諦めた青年の話が、米国のライオンズクラブに伝わり、同クラブは東京ライオンズクラブに費用を送金、これがきっかけで在京6クラブが移植推進PRの協会を発足させると活動は全国のクラブに拡大、クラブ員である眼科医による独自のアイバンクも誕生しました。また米軍属のアイバンク設立への協力の申出もある中、56年角膜移植法案が国会で審議未了となったため、翌57年の今泉教授の施術は死体損壊罪と地元新聞が大々的に報道、これを受けた最高検察庁は、人道的道徳的見地から犯罪ではなく、「罪は審議未了にした国会にある」としました。58年には法案は国会を通過、移植手術は正式に合法化され、次々と眼球銀行が誕生した。63年角膜あっせん業許可基準が公布され現在のアイバンクの形態が整った。前記のいきさつから54あるアイバンクの大半の設立母体はライオンズクラブです。56年の実質献眼登録第1号も岡山のクラブ員原勝巳氏であり、60年70年代にはライオンズの献眼活動により亡くなった町民の3割もが献眼する町もありました。現在移植待機者は約1,700人（潜在的に数万人）に対し供給は、900人以下であり角膜は圧倒的に不足しています。

また高齢化と共に障害者は増加、2030年には200万人とも推定されます（内3割は角膜異常）。

2019年iPS細胞による移植が成功したが、費用が超高額であり、献眼に依る費用と同等になるのは相当先のこと、当面はやはり善意による献眼が主体です。改めてヘレン・ケラー女史の訴えを思い起こし、人生最後の善意（角膜）を贈りたいものです。



故 今泉亀撤教授



QRコードを読み込んでください。動画を見ることができます。

右：1925年ライオンズクラブ国際大会にてヘレンケラー女史のスピーチ

左：公共広告機構「アイバンクに登録してください」（1957年の少女と今泉教授）



献眼者ご遺族の手記

前原 英石

平成4年1月5日、85歳で他界した祖父が献眼登録をしていた事を私が知ったのは、祖父が亡くなった当日、病院に集まった親族に対して今は亡き父からその事を告げられた時の事でした。

突然聞かされた事でビックリしましたが、亡くなった後も困っている人の為にお役に立ちたいと考えていたのだなと強く感じましたし、逆に今後自分もそのような事ができるのかなと自問自答した事を覚えています。

そして昨年、令和2年12月20日、93歳で亡くなった父も祖父同様に献眼登録をしており、献眼をさせて頂きました。

父は祖父が亡くなった10年後に登録をしていたようで、私がそれを知ったのは5年程前の事でした。普段は口数の少ない父に呼ばれ、「私も祖父同様に献眼登録してあるから、何かあった時はすぐにアイバンクに連絡をしてくれ」とアイバンクカードを託されました。

その時、父の意思を叶える責任とその重さを感じました。

今回、その責任を果たせた事は私にとって祖父、父と2代に亘って引き継がれた社会に対する貢献であり、私も引き継ぐべき事ではないかと考えるようになりました。

父が亡くなった時はコロナ禍であり、もし父が新型コロナウイルスに感染していれば献眼は叶わないと言われました。大変不安になりましたが、検査の結果大丈夫であったと聞いた時は本当にホッと胸をなでおろしました。

父の願いを叶える事ができ、私が父から与えられた最後の責任を果たす事ができたと安堵しました。

最後に献眼後、無事に移植されたとの報告を頂き、その報告を子供や孫に伝え、口を揃えて「お役に立てて良かったね」と言ってくれます。父も喜んでくれていると思いますし、自身も自分の事のようにうれしく思います。

報告を伝える事によって子供や孫も献眼に対しての理解を深めてくれているものと感じます。

次ページの移植を受けた方との関連はありません

移植を受けた方からの手紙

10歳 男の子

ぼくは生まれつき右眼に角膜デルモイドというものがついていました。

ですが、ドナーのおかげで10才で手術できました。それに手術は無事成功しました。

角膜を提供してくれた方、そしてその家族の方にも感謝しています。

これからも目を大切にして生きていきます。改めて角膜を提供してくださり、誠にありがとうございました。

この度は角膜を提供していただき、ありがとうございました。

見た目を気にしていた本人でしたが、手術が終わり目が覚めて、退院して、家に帰って来て自分の顔を鏡で見て、第二の人生の始まりと言っていました。その言葉を聞いた時に私は本当に手術を行って良かったと思いました。ドナー様には本当に感謝しています。心からありがとうございました。

(父)



50歳代 女性

この度は、角膜提供に心より感謝いたしております。私は、20代前半、突発性角膜帯状上皮剥離という病気になり、30代、40代、角膜移植を繰り返し多少の視力を保ちながらも日々の生活を送っております。(両眼)角膜移植を通じて、多くの方々の話を聞いたりしますが、「感謝」という言葉以外ありません。そして、手術、サポートをして頂く先生方も同様です。角膜提供されたご家族との『ご縁』を大切にして、明るい希望を持って生かして行きたいと思っています。現在、全世界で、新型コロナウイルスにより、悲しく、そして耐え難い日が続いておりますが、くれぐれも皆様のご健康を心よりお祈り申し上げ、ご自愛されるようお伝えください。本当にありがとうございました。

富山雷鳥ライオンズクラブの献眼登録推進活動

富山雷鳥ライオンズクラブ

GST四献糖尿病視聴力保護福祉

委員長 濱西久美子

富山雷鳥ライオンズクラブは今年度創立50周年を迎え、クラブスローガンに「喜びと感動の奉仕を！」を掲げ、新型コロナウイルス感染拡大の中、様々な奉仕活動を行っています。

中でも、年度内3回の献血推進運動と併せて、積極的に献眼運動に力を注ぎ「献眼登録パンフレット」の配布を行っています。

1925年6月20日アメリカオハイオ州シダーポイントで開催のライオンズクラブ国際大会において、ヘレン・ケラー女史が「暗闇と闘う盲人のための騎士になってください」と訴えて以来、「視力ファースト」がライオンズクラブの中心的奉仕活動になり、このことが献眼登録推進活動に繋がっていると聞いています。

当クラブでは献眼登録運動により、現在までにクラブを通じて319名の方が登録されているとともに、クラブ会員家族4名、元クラブ会員2名、元クラブ会員家族2名及びクラブの献眼運動により1名の方が献眼をされています。

また、2015年度には、クラブメンバー献眼登録率100%を達成しまし

たが、新会員の入会等により現在は70%程度となっています。機会をとらえ、登録率100%を目指したいと思うとともに、更なる献眼登録推進のパンフレットの配布に併せて募金を呼びかけていきたいと思っています。



9月5日 ファボーレにて

コロナ禍での献眼登録

高岡志貴野ライオンズクラブ
前会長 晒谷 昌克

アイバンクの存在を知ったのはライオンズクラブに入会したときでした。「献眼について」は漠然と知っていましたが、登録する機関があることは知りませんでした。

ライオンズクラブでは奉仕活動の一つとして献眼、献腎、献血、骨髄移植を推進する四献活動を行っています。その中でも献眼を含む視力ファーストは、1925年にヘレン・ケラー女史の「盲人のために暗闇と戦う騎士となってください」という呼びかけを受けて以来、ライオンズクラブの大きなテーマとして現在も主力事業になっています。私の所属する高岡志貴野ライオンズクラブでも50周年記念事業としてメンバー全員がアイバンクに登録しました。

しかし、献眼は本人がアイバンクに登録して終わりではありません。ご家族の協力がなければ本人がどれだけ強く思っている、その角膜が移植を待つ人に届くことはありません。ご家族が医療従事者に献眼の意向を伝えることにより初めて本人の意思が達成されるのです。日頃よりご家族内で献眼などについて話し合い、思いを共有しておくことが大切です。そして、その話し合いによる価値共有がご



家族の周りへとさらに広がって、献眼の輪を大きくしてくれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響でアイバンク登録者数が減少していますが、半面、家族の時間は増えています。こんなときこそ、ご家族で献眼の意義を話し合い、思いを共有し、献眼登録の推進をしていきたいと思ひます。

ご芳志ありがとうございました。

敬 称 略
単位：円

□寄付者 ご芳名 令和2年4月～令和3年3月

☆一般（個人）

匿名	120,000	佐藤 瑞恵	6,000	高見 隆夫	3,000
高瀬 清春	110,000	和田 亨子	6,000	田谷 睦己	3,000
笠島 學	100,000	赤川詩津子	5,000	辻 美代子	3,000
屋根 慎二	60,000	有倉 隆久	5,000	出口テル子	3,000
河島 早苗	30,000	石川 恵子	5,000	寺澤 和美	3,000
高田 順一	30,000	小川 季子	5,000	中川 正吉	3,000
野村 謹吉	30,000	北原 俊郎	5,000	中西 広一	3,000
筏井 晴夫	20,000	志鷹 高子	5,000	西田 努	3,000
小寺 千春	20,000	竹田 市次	5,000	野澤 喜一	3,000
豊田 耕一	20,000	谷野 克巳	5,000	畑 孝子	3,000
西田 勇	20,000	田之下和美	5,000	浜川真理子	3,000
匿名	20,000	一刎 幸子	5,000	林 巖	3,000
津根 良孝	15,000	堀 壽夫	5,000	久田 茂光	3,000
中野 忠雄	15,000	山崎 勝義	5,000	廣上 成志	3,000
中西 清一	13,000	徳田朱美江	4,000	前澤 富枝	3,000
愛場 京子	10,000	牧野 武	3,500	松島 重雄	3,000
愛場 正利	10,000	跡治 幸子	3,000	道嶋 一男	3,000
伊賀 肇	10,000	荒木 昭則	3,000	村上美穂子	3,000
磯野 敏雄	10,000	幾島かをる	3,000	室山 若子	3,000
内河 敦子	10,000	石黒 寛	3,000	目澤 益子	3,000
大浦 均	10,000	稲場トシ子	3,000	元野 清光	3,000
神嶋 利夫	10,000	稲村 栄勝	3,000	森田 明子	3,000
作村佐智子	10,000	上田 雄一	3,000	矢木 義人	3,000
笹島 延元	10,000	内山 照子	3,000	山沢 美子	3,000
炭谷 洋子	10,000	梅本 直明	3,000	山田 和枝	3,000
竹嶋 一恭	10,000	尾山 和子	3,000	山田志津枝	3,000
武田 宏	10,000	開保津一葉	3,000	山本 清	3,000
竹部 俊恵	10,000	川村 豊子	3,000	山本芙紀子	3,000
種谷 幸子	10,000	菊地 清	3,000	吉田 幸子	3,000
中村 正根	10,000	岸 一雄	3,000	米澤 務	3,000
能瀬 登代	10,000	木山 隆	3,000	匿名	3,000
野村 健造	10,000	下条 省三	3,000	笹木 弘子	2,000
畠山 志郎	10,000	駒野 松也	3,000	沼田 敏子	2,000
舩谷 専一	10,000	堺 美奈子	3,000	若杉 吉成	2,000
松井 健一	10,000	佐々木公子	3,000	八島 利夫	1,500
松井久雄・優子	10,000	佐藤 和夫	3,000	大嶋 淳子	1,000
耳浦 英子	10,000	澤田 壽朗	3,000	川邊真知子	1,000
村上 果	10,000	島田重太郎	3,000	久々湊 藍	1,000
百沢千賀子	10,000	菅沢ゆき子	3,000	久々湊 亮	1,000
四津井宏至	10,000	鈴木 信子	3,000	篠崎 宣行	1,000
匿名	10,000	千龍義信・かな子	3,000	松本恵美子	1,000
藤巻 篤子	9,000	高林 咲子	3,000	匿名	1,000

☆一般（法人・団体）

株式会社北陸電設	200,000	片山眼科医院	10,000
医療法人明世社白井病院	200,000	桐沢医院	10,000
株式会社オフィスケイ	30,000	医療法人社団啓愛会	10,000
株式会社いたの	20,000	田中眼科医院	6,000

☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ2リジョン 2ゾーンガバナー公式訪問	80,000	高岡伏木ライオンズクラブ	50,000
高岡ライオンズクラブ	210,000		

□賛助会員 令和2年4月～令和3年3月

個人会員

青木 英勝	尾谷 秀雄	澤泉 弘	中川 正人	松崎 孝治
秋本 政亮	片口 尚志	篠崎 孝伸	長勢 知子	三井田一博
油本 茂	片山 寿夫	篠田 和男	長田 雅子	水木 國夫
新多 勇人	加藤 樹永	清水 英子	中村 孝子	水野 敏博
石川 勝康	金井 澄子	杉本喜久子	中山 貴弘	道原 英克
石川 雅朗	鎌谷 克彦	函師 真弓	波岡 一子	宮腰 晃央
石崎 敬治	上山 恵巳	高岸 和男	新田 正昭	宮島 清
石田ひとみ	亀田 尚美	高林 敏	野尻津喜夫	宮野 高司
一川 順彦	狩野 俊哉	高柳 昇	野村 賢政	村椿 晃
伊東 紀一	河口 俊昭	竹本 毅	長谷川修博	毛利 良子
伊藤 光雄	河原 知昭	竹本 福志	畠山 明	森 弘
今井 幹雄	刑部 郁子	舘 奈保子	畠山 敏一	森田 嘉樹
今村 知代	清河 高之	谷川 悠	濱多 等志	山尾 佳史
植田 芳樹	清河 衛	谷口 清高	林 篤志	山崎 和子
上野 弘喜	串田 正二	谷口 正明	林 貴文	山崎 泰邦
内山 英男	熊本 新一	谷口 保孝	針山 健史	山崎与四之
海野 武史	黒崎 春久	土田 豊	稗苗 清吉	山下 陽子
梅田 清一	慶野 耕一	寺井 仁	廣瀬 和夫	山林 雅和
大浦 均	高縁 勲	寺崎 達二	廣瀬 利行	山本 明彦
大崎 利明	高縁 勉	戸澤 秀行	藤記 尚子	吉崎 剛
太田 茂	小林 正伸	富山 秀喜	藤塚由紀子	吉崎 実
大田 妙子	斉藤 周子	豊田 葉子	藤巻 篤子	吉田 譲
大塚 光哉	齊藤 譲一	虎谷 武道	干場 毅	米山 六博
大庭 知子	酒井 清光	鳥崎 真人	堀 巖	若森 征雄
奥原喜代司	佐賀野昭一郎	鳥山 博	保里真理子	渡邊 一三
尾崎 誠	作村佐智子	長岡 貴啓	増井 修	綿屋 和美
小沢 正康	笹島 康隆	中川 伸一	松倉 正機	

法人会員

☆一般

株式会社岩黒製作所	平田眼科医院
株式会社押田建築設計事務所	株式会社広野
久保穀税理士事務所	富源商事株式会社
株式会社黒東アメニティ公社	株式会社藤井産業
サンユウセキュリティ株式会社	株式会社北陸エンジニアプラスチック
株式会社す가의印刷	北陸バンドー株式会社
株式会社セイアグリーシステム	有限会社舩谷解体工業
高瀬公認会計士事務所	丸進商事株式会社
東光運輸株式会社	株式会社丸八
株式会社富山県義肢製作所	ミユキ化成株式会社
富山スガキ株式会社	
医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院	

☆ライオンズクラブ関係

滑川ライオンズクラブ	高岡フラワーライオンズクラブ
滑川有恒ライオンズクラブ	となみセントラルライオンズクラブ

募金ありがとうございました。令和2年4月～令和3年3月

☆一般

医療法人社団ますだ眼科医院	17,605	イタリアン・トマトCafeJr.	5,949
あさひ総合病院	15,050	カレーハウスコロンブス	4,431
ポプラ戸出春日店	10,865	セブン-イレブン富山水橋辻ヶ堂店	3,527
ポプラ宇奈月温泉店	10,304		

☆ライオンズクラブ関係

入善ライオンズクラブ	8,637
------------	-------

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方……個人所得税・個人住民税
- 個人で富山県外に在住の方…個人所得税
- 法人の方……法人所得税

くわしくは、アイバンクへお問い合わせ下さい

公益財団法人富山県アイバンク 令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

〈公益事業1〉眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。
本年度の献眼登録者数は、18名でした。

(2) 眼球あっせん事業

① 眼球のあっせん

●ドナー情報が23名あり、21名から提供を頂きました。

献眼月	年齢	性別	在住地
4月	70歳代	男性	立山町
	70歳代	男性	富山市
	70歳代	女性	射水市
5月	70歳代	男性	富山市
6月	40歳代	女性	富山市
7月	70歳代	男性	富山市
	60歳代	男性	砺波市
8月	60歳代	女性	射水市
9月	80歳代	女性	上市町
	100歳代	女性	富山市
11月	70歳代	女性	富山市

献眼月	年齢	性別	在住地
11月	70歳代	女性	射水市
12月	90歳代	男性	舟橋村
	80歳代	男性	富山市
	100歳代	女性	富山市
	50歳代	男性	魚津市
1月	70歳代	女性	富山市
2月	80歳代	男性	富山市
	90歳代	女性	富山市
3月	75歳代	男性	富山市
	50歳代	女性	富山市

- 提供者のご葬儀に参列し、弔辞奉読および感謝状の伝達を行いました。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。
- 提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜のあっせんを行い、41名の方に角膜移植が、また強膜のあっせんを行い、67名の方に強膜移植が行われました。

② 移植希望者の募集および登録

- 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

(3)普及啓発事業

①医療従事者への啓発活動

- 富山県立中央病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院（オンライン参加）、富山市民病院において病院症例検討会を行いました。
- 市立砺波総合病院、富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山市民病院、厚生連高岡病院の院内移植委員会に参加しました。
- 富山大学附属病院看護部研修会にて講演（全病棟等計25カ所）、富山県立中央病院、富山市民病院、啓発活動の一環として講演を行いました。
第2回院内移植コーディネーター連絡会にて講演を行いました。

②一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動を県内各地で5回実施しました。
- 啓発活動の一環として講演を3回行いました。

〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)情報紙「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。

(2)広報誌「富山県アイバンクだより26号」を発刊（11,000部）、登録者および県内関係機関に配布しました。

献眼の連絡体制変更のご案内

本年10月1日より、献眼の連絡体制が変更になりました。

勤務時間内（平日9時～17時）は、アイバンク事務局が対応します。

勤務時間外（平日17時～翌朝9時、土・日・祝日は終日）は、富山大学附属病院眼科医師が対応します。

献眼連絡の電話番号は **076-434-5710** で変更はありません。

公益財団法人富山県アイバンク 令和2年度収支決算書（損益）

令和2年4月1日～令和3年3月31日
(単位：円)

科 目	決 算 額			科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計		公益事業小計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				④什器備品償却費	0	38,700	38,700
1. 経常増減の部				⑤租税公課	0	0	0
(1)経常収益				経常費用計	16,048,861	1,705,261	17,754,122
①基本財産運用益	17,388	0	17,388	評価損益調整前当期増減額	3,053,558	△ 866,913	2,186,645
②特定資産運用益	3,289	0	3,289	評価損益等計	0	0	0
③受取会費	874,000	0	874,000	当期経常増減額	3,053,558	△ 866,913	2,186,645
④事業収益	11,400,000	0	11,400,000	2. 経常外増減の部			
⑤受取補助金等	2,767,220	800,000	3,567,220	(1)経常外収益	0	0	0
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000	経常外収益計	0	0	0
LC奉仕銀行助成金収入	1,200,000	800,000	2,000,000	(2)経常外費用	0	0	0
日本アイバンク協会助成金収入	187,220	0	187,220	経常外費用計	0	0	0
富山県善意銀行助成金収入	30,000	0	30,000	当期経常外増減額	0	0	0
⑥受取寄付金	2,028,821	30,547	2,059,368	当期一般正味財産増減額	3,053,558	△ 866,913	2,186,645
寄附金収入	1,983,000	0	1,983,000	一般正味財産期首残高			89,116,339
募金収入	45,821	30,547	76,368	一般正味財産期末残高			91,302,984
⑦雑収益	2,011,701	7,801	2,019,502	II 指定正味財産増減の部			
経常収益計	19,102,419	838,348	19,940,767	受取補助金等	0	0	0
(2)経常費用				受取負担金	0	0	0
事業費	16,048,861	0	16,048,861	受取寄付金	0	0	0
①眼球のあっせん等に関する事業費	2,786,166	0	2,786,166	基本財産運用益	0	0	0
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	1,914,141	0	1,914,141	基本財産利息収入	0	0	0
③公益事業共用費	10,952,574	0	10,952,574	特定資産運用益	0	0	0
④什器備品償却費	395,980	0	395,980	一般正味財産への振替額	0	0	0
管理費	0	1,705,261	1,705,261	当期指定正味財産増減額	0	0	0
①諸給与支出	0	964,819	964,819	指定正味財産期首残高	0	0	0
②会議費支出	0	116,705	116,705	指定正味財産期末残高	0	0	0
③需用費支出	0	585,037	585,037	III 正味財産期末残高			91,302,984

公益財団法人富山県アイバンク相談役・理事・監事

(令和3年7月8日現在)

名誉顧問1名・相談役2名

役 職	氏 名	勤 務 先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長

役 職	氏 名	勤 務 先
相 談 役	中川 忠昭	富山県議会議員
相 談 役	渡辺 守人	富山県議会議員

(令和3年6月25日現在)

理事38名・監事2名

役 職	氏 名	勤 務 先
理 事 長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
理 事	高田 眞	阪神グループ 取締役相談役
理 事	伊勢 豊彦	株式会社セイアグリーシステム 代表取締役
理 事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理 事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理 事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理 事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理 事	中尾 順一	株式会社ホクベレ 代表取締役会長
理 事	木内 哲平	富山県 厚生部長
理 事	柴 雅棋	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理 事	片山 壽夫	富山県眼科医会 会長 片山眼科医院 院長
理 事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理 事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理 事	筏井 晴夫	株式会社高嶋 顧問
理 事	門前 昌志	阪神グループ グループ統括本部長 執行役員
理 事	熊野 清	砺波宅建企画 代表

役 職	氏 名	勤 務 先
理 事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役部長
理 事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理 事	中川 伸一	富山市農業協同組合 非常勤役員
理 事	前田 隆夫	株式会社前田商会不動産サービス 代表取締役
理 事	松田 憲昌	株式会社昌栄堂 代表取締役
理 事	神嶋 利夫	小外水産株式会社 代表取締役
理 事	坂東 昭	有限会社坂東設備 代表取締役
理 事	杉木 徹	杉木鉄工株式会社 代表取締役社長
理 事	舘 良一	株式会社シー・エー・ピー 代表取締役会長
理 事	辻井 利男	株式会社花金 代表取締役
理 事	太田 秀夫	テレ通株式会社 相談役
理 事	藤井 泰三	株式会社藤井産業 代表取締役
理 事	中田 眞法	真言密宗大本山 大岩山日石寺 責任役員
理 事	小松 千秋	株式会社北陸珈琲 代表取締役
理 事	久保 健三	有限会社山二運輸 代表取締役社長
理 事	今井 司	となみ観光交通株式会社 取締役
理 事	真田 宏一	有限会社フジ企画 代表取締役
理 事	原野 博明	サンエー建工株式会社 代表取締役
監 事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監 事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

公益財団法人富山県アイバンク評議員

(令和3年6月25日現在)

評議員35名

氏 名	勤 務 先	氏 名	勤 務 先
砂子阪和夫	株式会社砂子阪工業所 代表取締役	高平 伸	高新工業株式会社 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長	柏原 京子	かしはら館 女将
山森 峰克	山森建設株式会社 代表取締役	高縁 勲	有限会社高縁自動車 代表取締役
中井 盛博	株式会社サンコレクト 代表取締役	由井 崇	由井崇司法書士事務所
五百崎 平	いおざき印刷株式会社 代表取締役	竹中 勝治	有限会社ビップアート 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク(県議会議員) 取締役	若森 征雄	若森商店 代表
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役	北林 和正	社会福祉法人Q・O・I福祉会 理事長
水口 淳	株式会社LYDIA 代表取締役	林 真孝	有限会社北砺ビルサービス 代表取締役
黒田 康二	ニコウ産業株式会社 代表取締役	橋本 隆一	橋本商会 代表
藤田 淳一	有限会社シンワ電工 代表取締役	関 勝	行政書士関事務所 代表
岡本 葉子	東京海上日動パートナーズ東海北陸提携代理店 代表	毛利 克彦	株式会社あづまコンクリート工業 代表取締役
入坂 文一	株式会社入坂組 代表取締役	水越 正之	株式会社北陸エンジニアプラスチック 代表取締役
辻井 益雄	株式会社アブリコット 取締役会長	八嶋祐太郎	八嶋合名会社 代表取締役会長
南 俊正	元富山市議会議員	荒谷 謙治	有限会社荒谷装飾 代表取締役
笹畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役	嶋田 仁司	日環計量管理株式会社 代表取締役
前佛 栄一	有限会社トマトランド 代表取締役	根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役	長原 好成	公益社団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長
表寺 剛将	有限会社北日本新聞上市西部販売店 代表取締役		

一 広 報 委 員 会 一

委員長：筏井 晴夫 副委員長：藤塚由紀子

一 P R 部 一

部長：畠山 志郎

中尾 順一 杉木 徹 松田 憲昌 館 良一 真田 宏一 原野 博明

編集後記

富山県アイバンクだより「光」の贈りもの第27号を発刊いたしました。

これまでの“だより”には眼科医、院内コーディネーターの方々、そして献眼者のご遺族や移植者の方々から原稿をご提供いただき更には、ライオンズクラブの活動状況が掲載されてまいりました。しかし、その活動に対する県民への浸透はまだ十分でなく、今後とも啓発活動の推進に力を注がなければなりません。

そのため、前々回第25号で一度掲載されました「日本での献眼の始まりとヘレン・ケラー」を再度熟読し、原点に立ち返っていただくことといたしました。

眼のご不自由な方に「光」の贈りものが届きますよう、そしてより一層この輪が広がりますようお願いしております。今回移植を受けた10歳の男の子の手紙が心に残りました。

また、表紙の写真はイナガキヤスト氏の作品です。富山を代表する色鮮やかなチューリップをテーマに、ブルーインパルスとの調和が素晴らしいですね。

終わりに、今回貴重な原稿をご提供下さいました各位に厚くお礼申し上げます。

広報委員会 副委員長 藤塚由紀子



富山県アイバンクだより

第27号・令和3年11月1日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630

TEL (076)434-5710

発行人：大黒 幸雄

献眼は



登録していなくてもできます

ご本人が拒否の意思を
示していない限り、
家族の同意で献眼できます
年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは



(公財) 富山県アイバンク

電話 076-434-5710

E-mail info@toyama-eyebank.com

